

六畳一間
の
花嫁

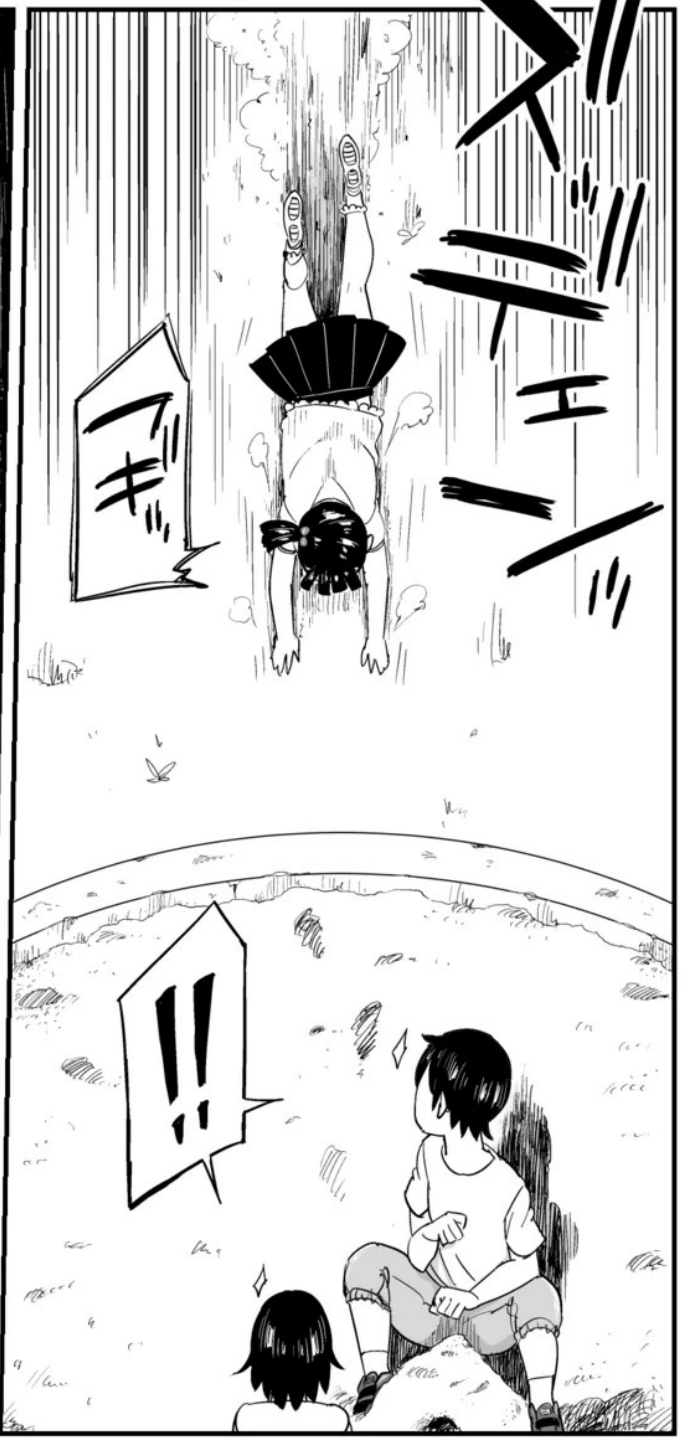


しおじ











直ちゃん
まだいる？

いるなら
戻ってくるけど

んや
私も帰るよ

いい
時間だし

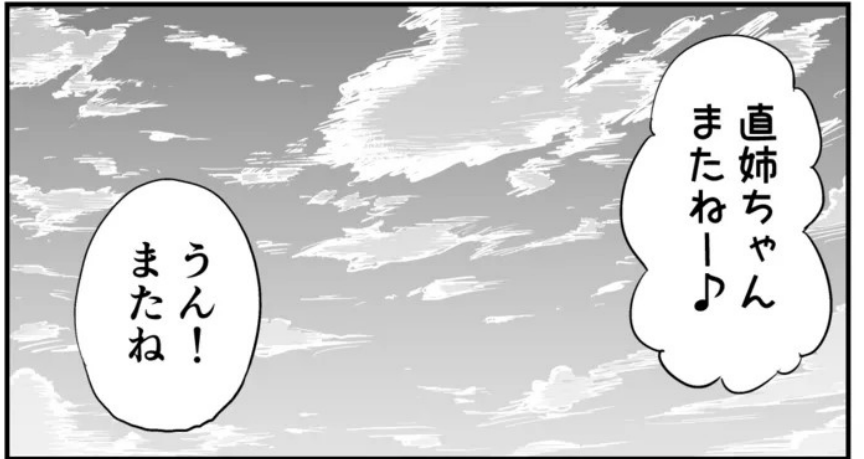


んしょ…
つと…



私は何も
言っていない

言っ…
てな…



直姉ちゃん
またねー♪

うん！
またね



直ちゃん！！



…忘れよう

………

…



俺が
約束する！



——絶対
待ってて！！



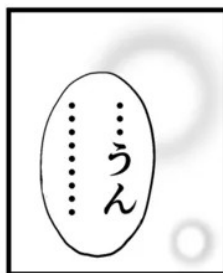
——叶うよ！
直ちゃんの夢！！



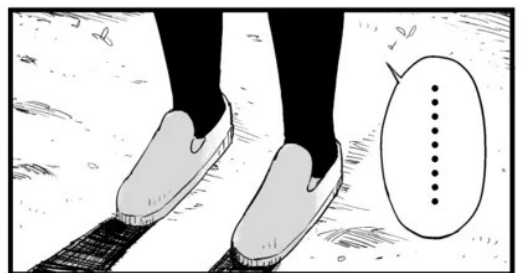
うん……！！



……？



……うん……



……








—その日見た
部屋の天井はね


今まで見たどんな
星空より
キラキラしてたこと
今でも憶えてるんだ



あの日からもう
十年以上経つんだね


亮ちゃん

気づいてたよ

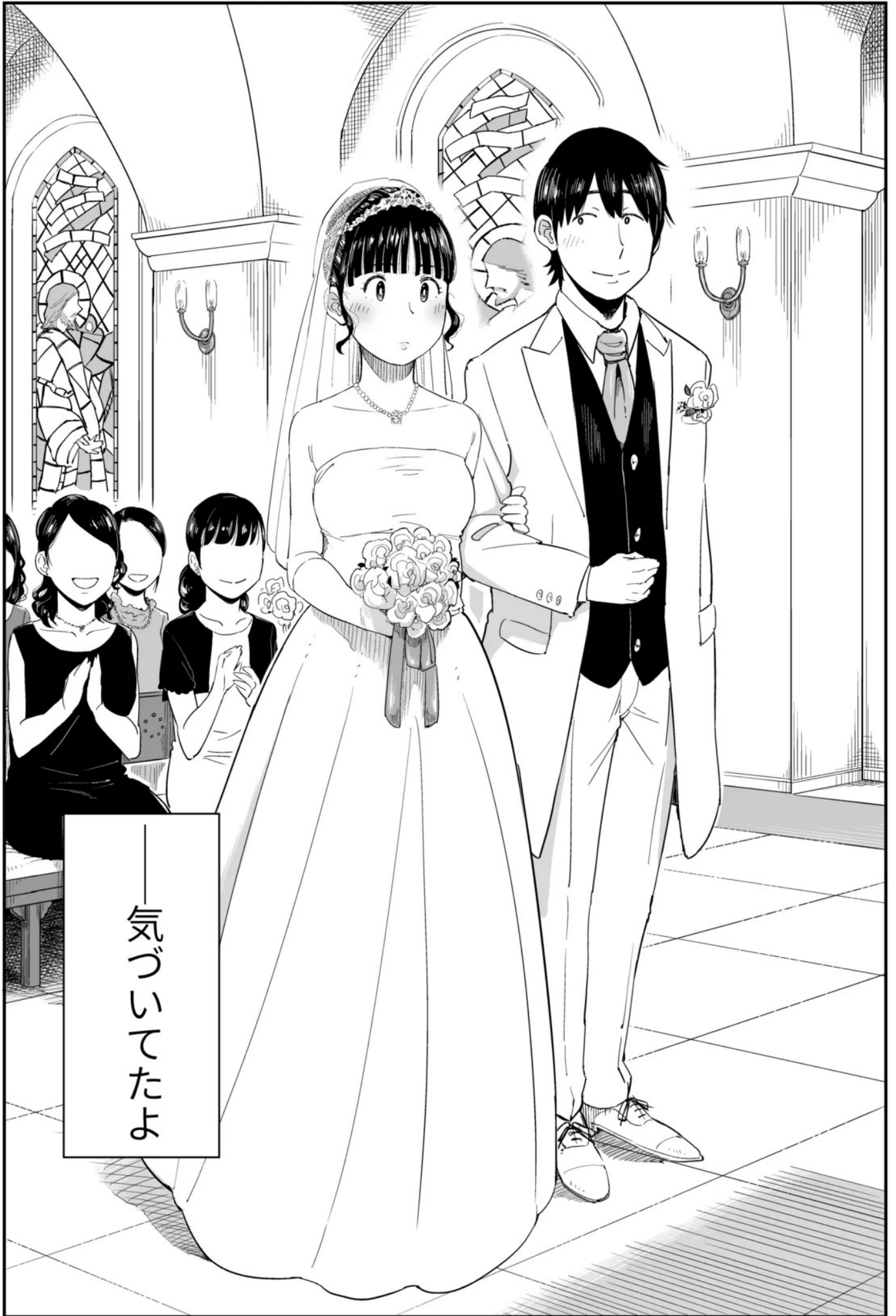


結が亮ちゃんに
本気な事も—

そんな結に
亮ちゃんが
惹かれていった事も



ずっとずっと
そばで
見てたから



——
気づいてたよ



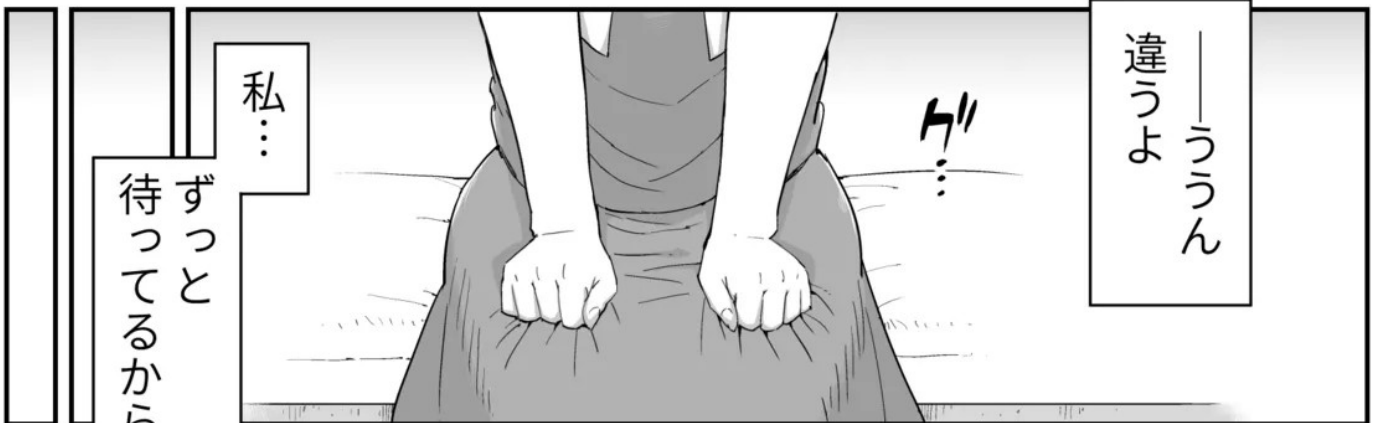
ねえ
亮ちゃん

私の夢って
コレじゃない？



約束したのは

「コレじゃない？」



——ううん
違うよ

私…
ずっと
待ってるから

約束したから――



ん〜〜〜



あったあった!

ここだ!



え…と…

たしか…この辺り…



ワイヤレス



あ…!





…よ

ホッ…

よかった〜…

心配しすぎて
死ぬかと思ったよ〜

……………
それよりさ

心配なのは
直ちゃんの方

何で
直ちゃんが…

聞いたよ？ すごい
モテてるって

結・婚・し・ないの？
もったいないよ

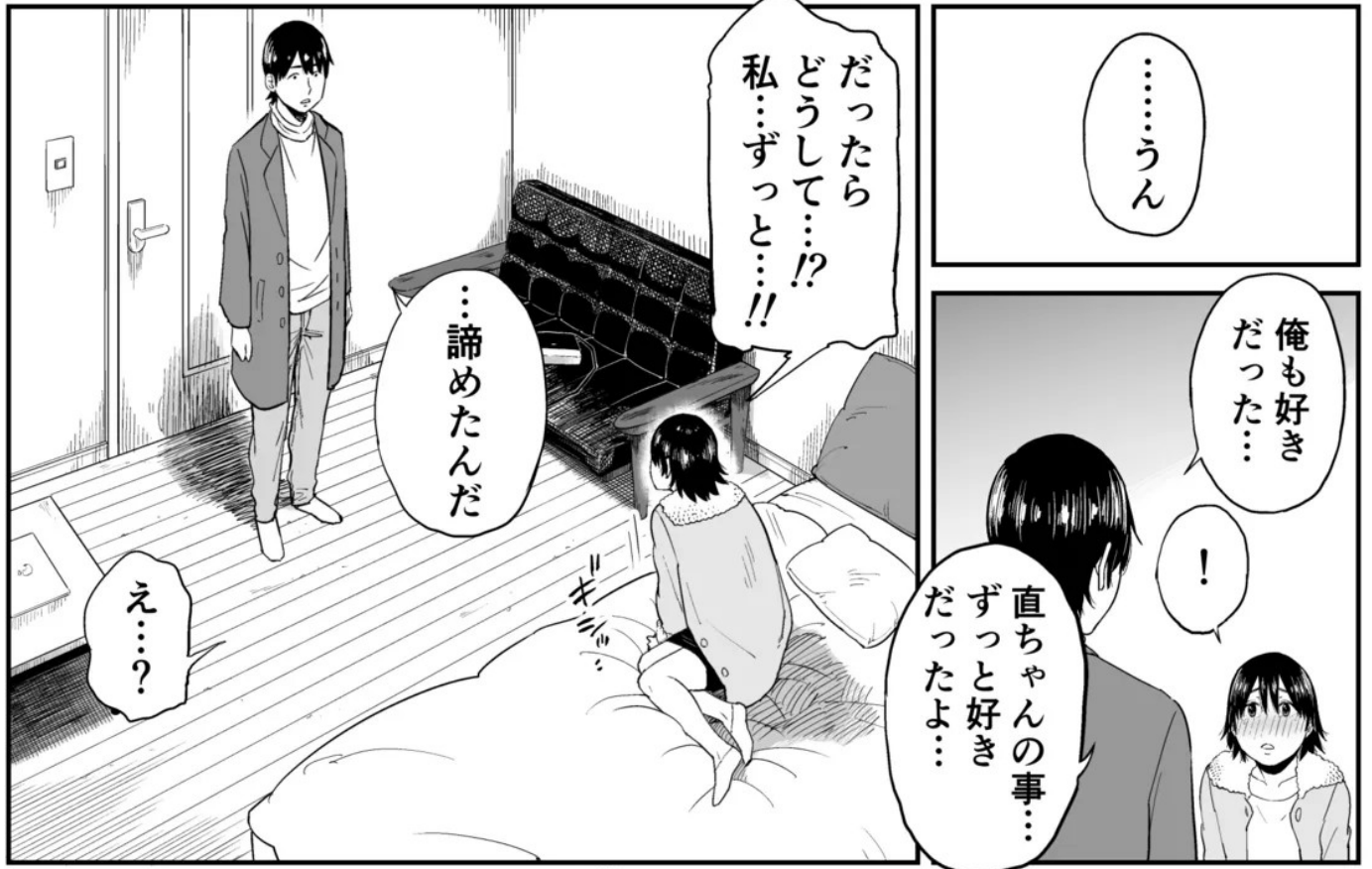
だって結は
妹みたいな
もんだもん

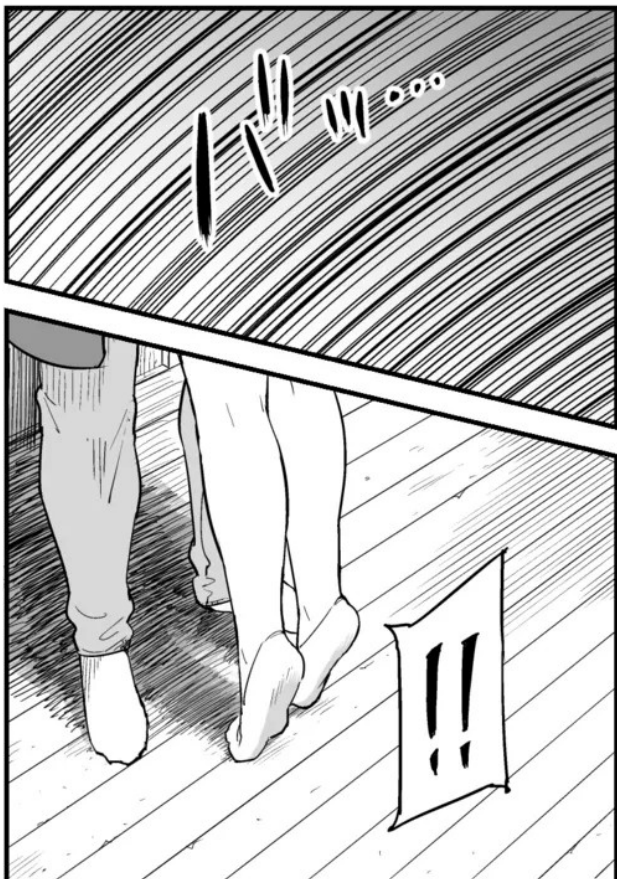
















でも…
もう
遅いのよね…

ト…

こんな事したって
意味ないのよね…



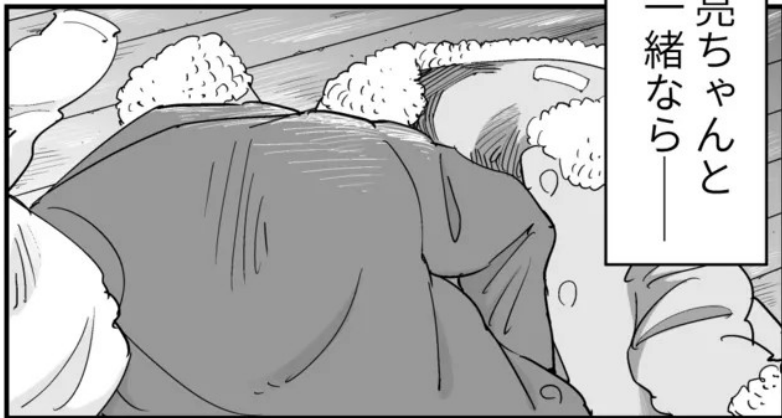
困らせて
ごめんね…



ごめんね
亮ちゃん…



あの日の約束
なんて…
もう意味ない
のよね…



亮ちゃんと
一緒なら——



……

ごめん……
結……

でも私ね

心から
想っちゃったんだ



亮ちゃんと
一緒になれるなら

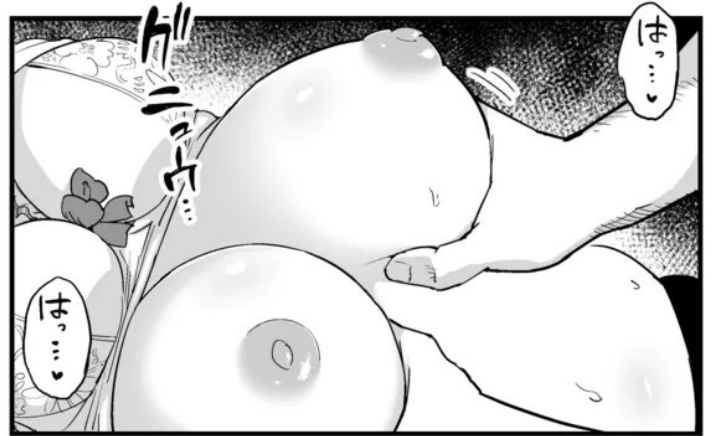
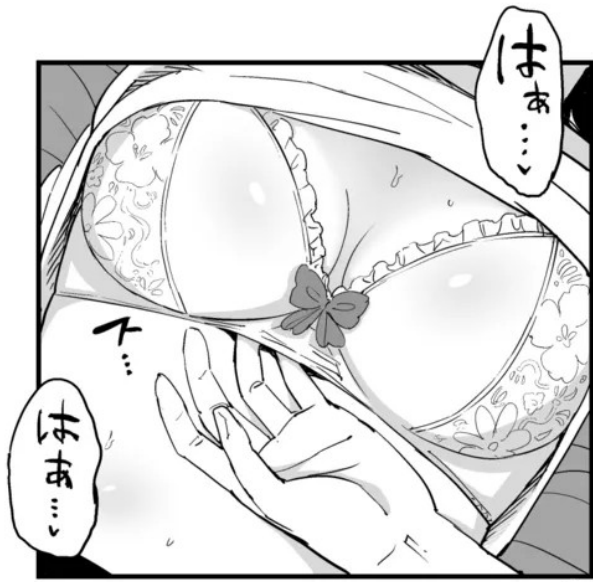


地獄でも
いいって

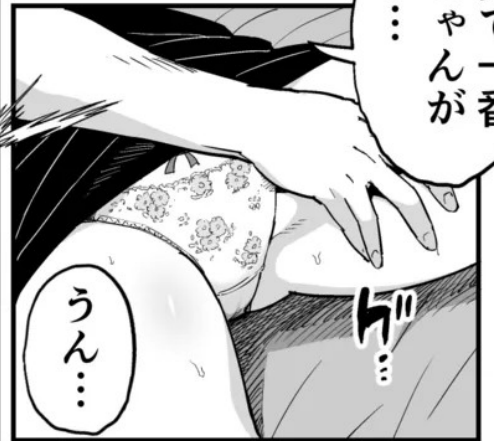


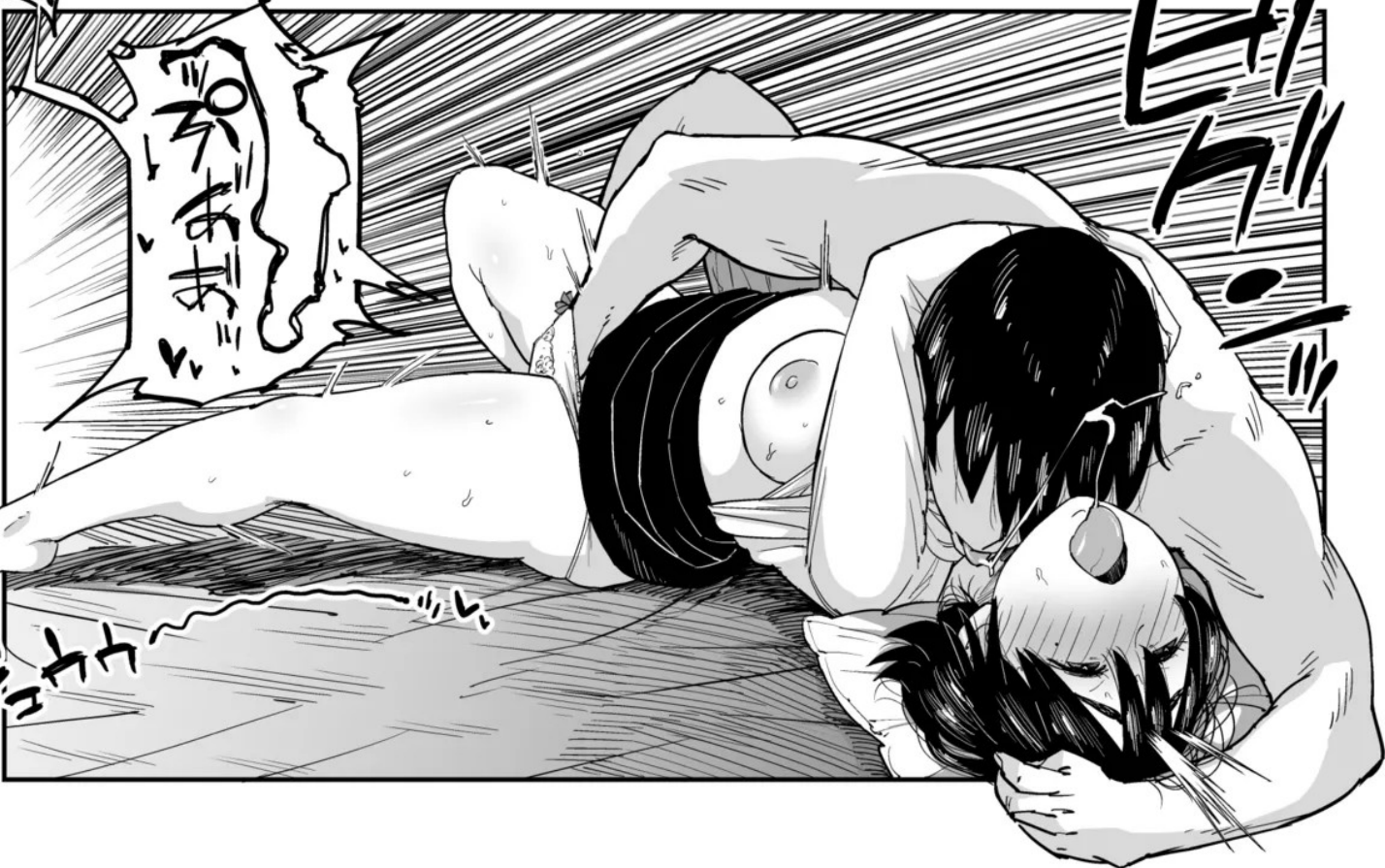
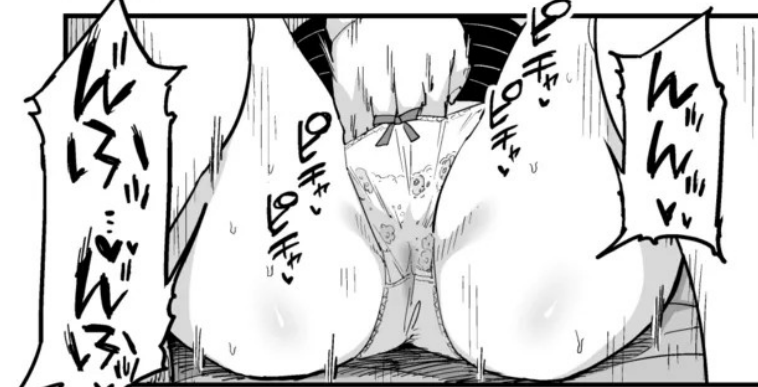
この先が——

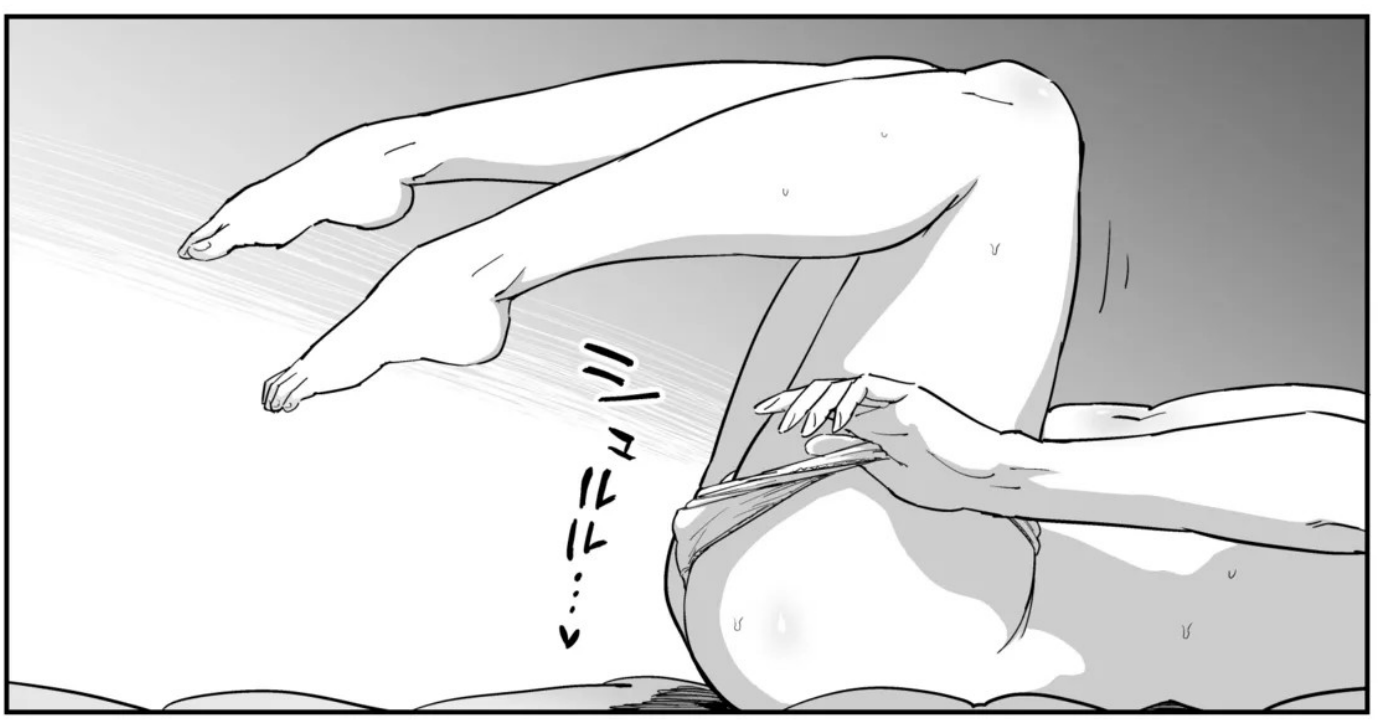
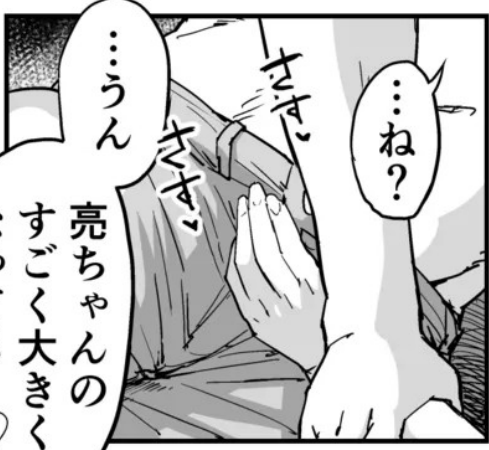
この先に
待ってる
未来が……

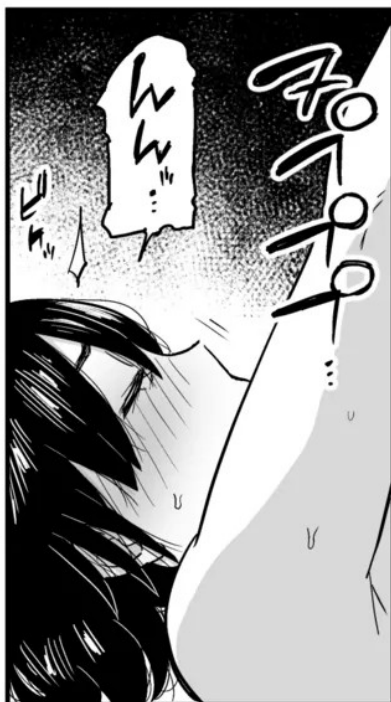
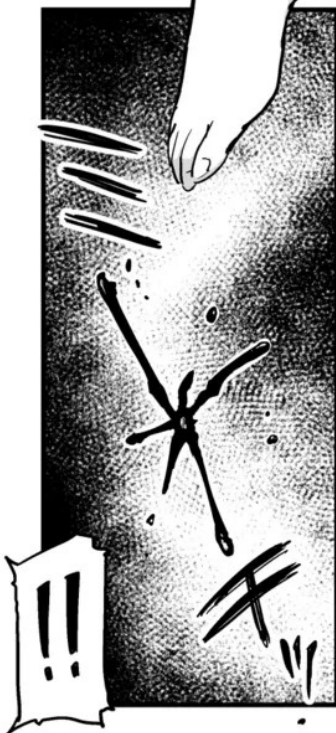




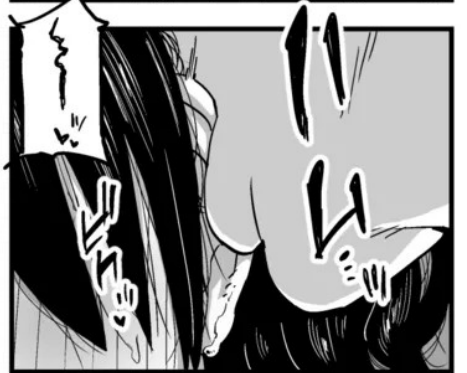
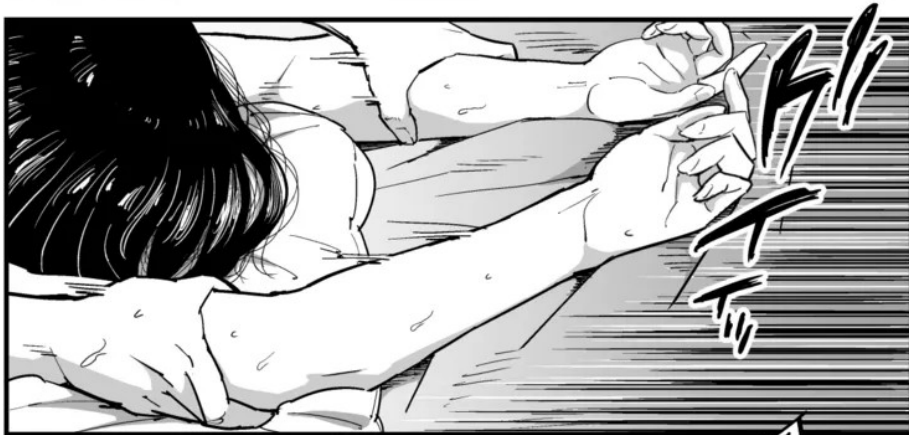
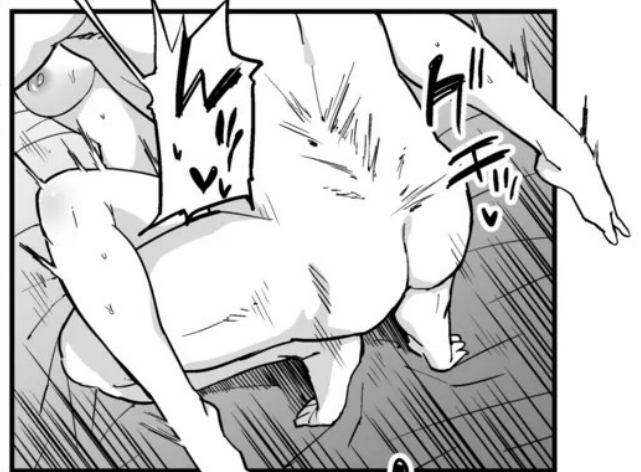


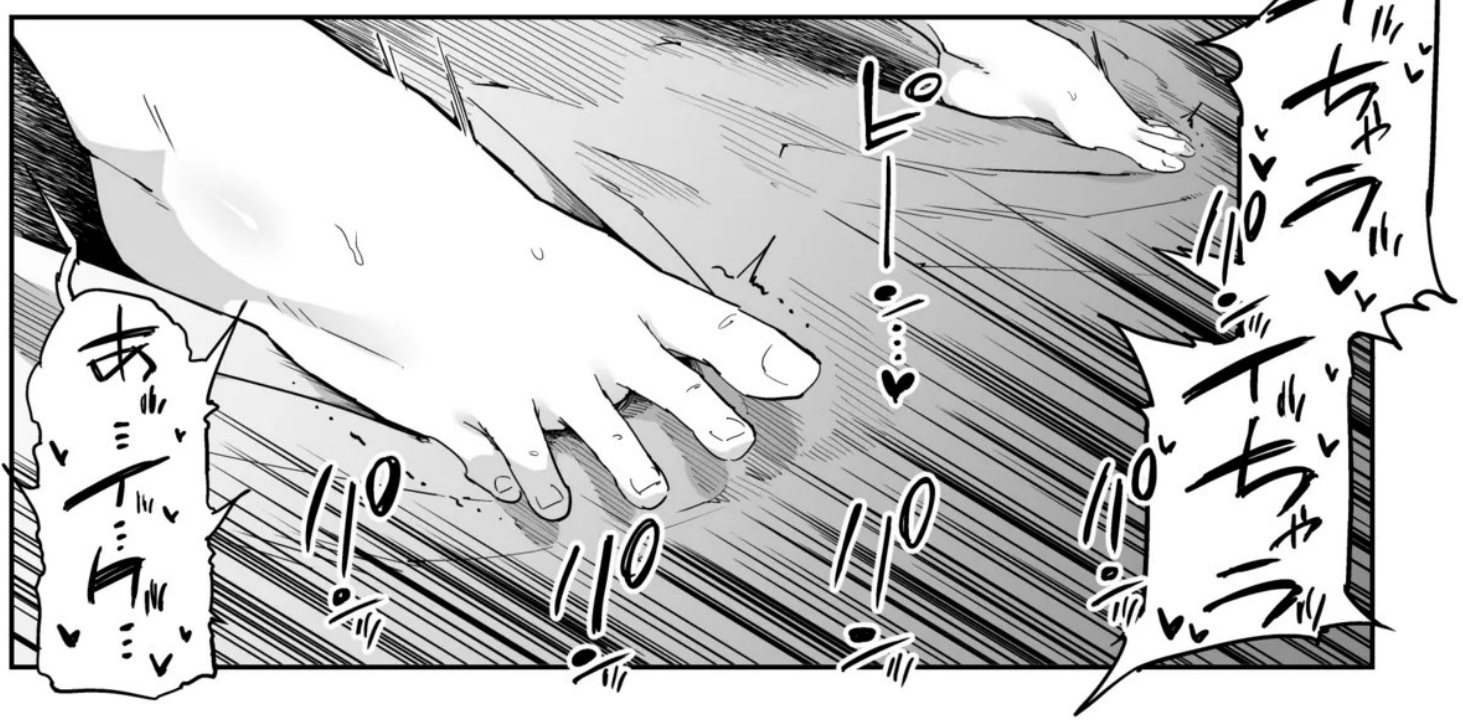


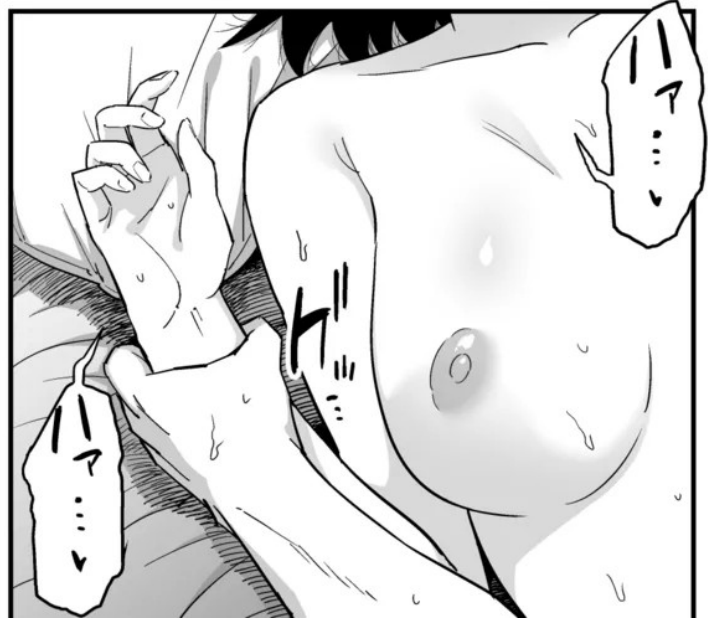
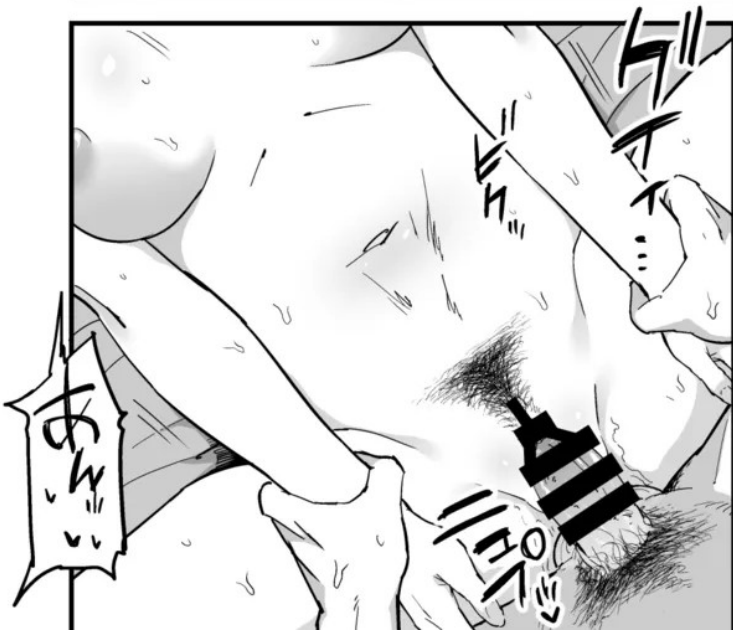














射^だ精して…♡

うん…

そのま^まま…
射精してッ…♡



そんな事
したら…!!



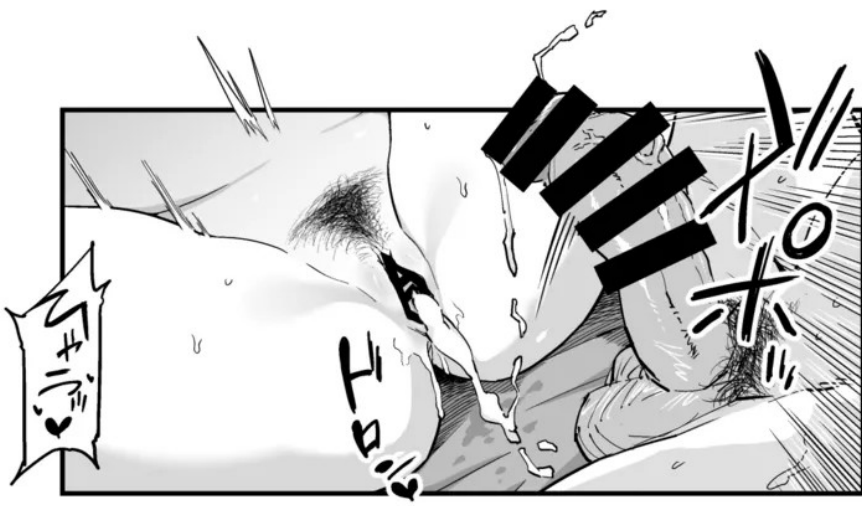
いっッ…!!!

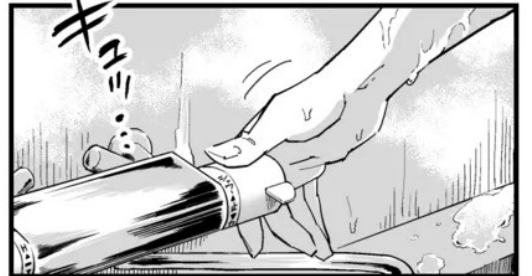
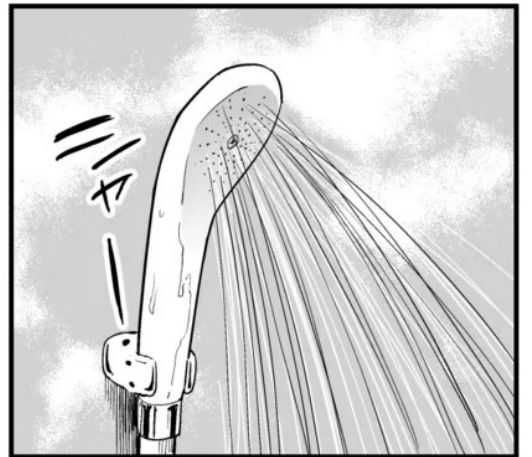


直ちゃん…ッ

イクよ…
出すよ…!!











亮ちゃん
どう？

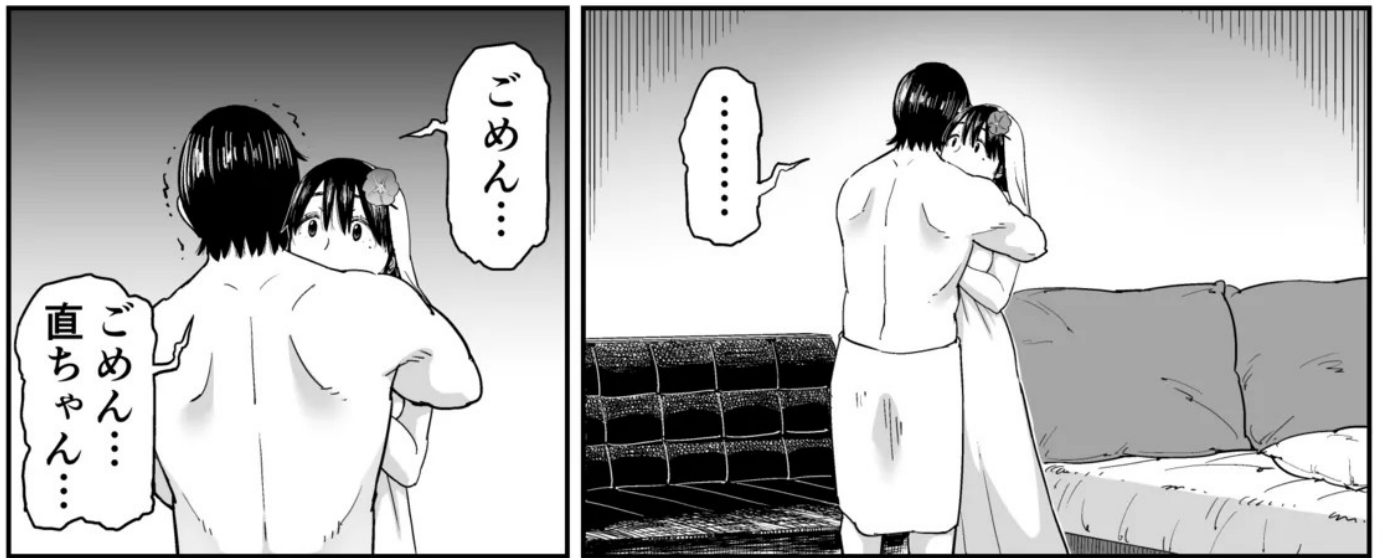
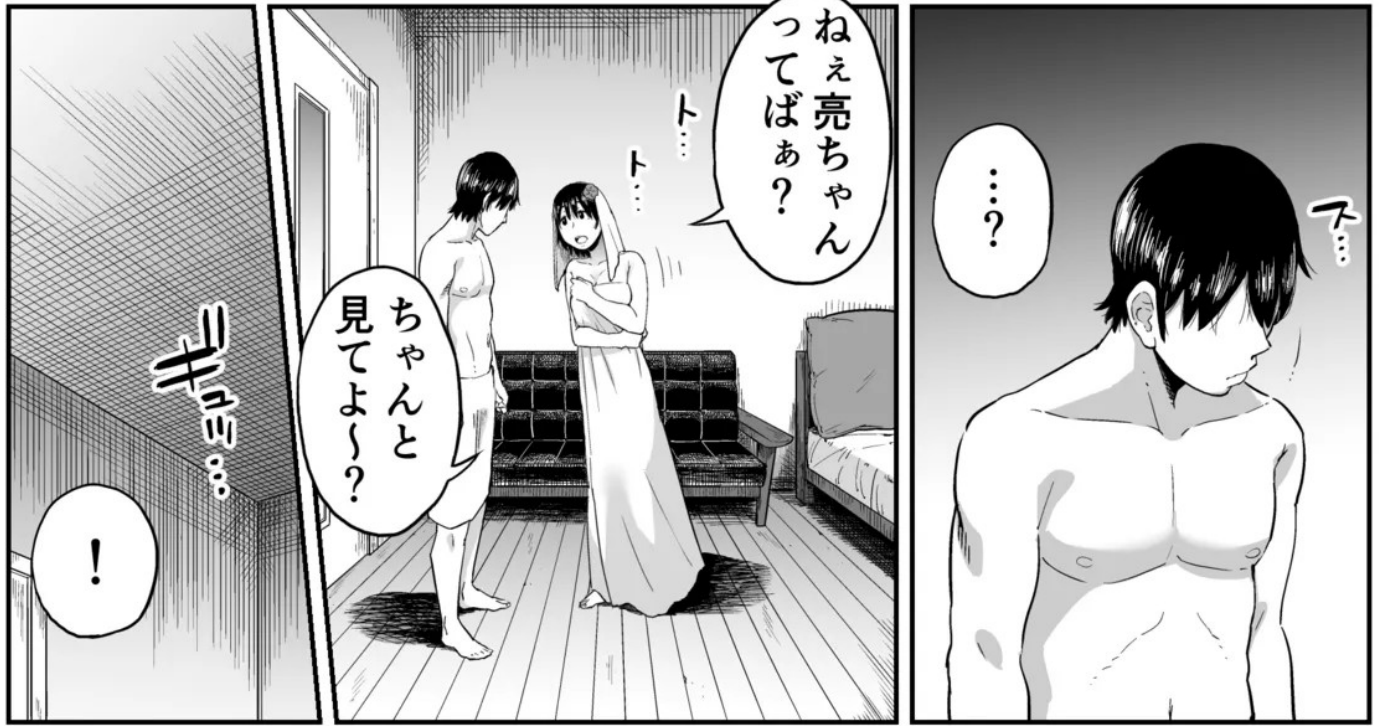


にっ
にっ

あはれい



私
きれい？





んっ

さささ



んっ

ごめん



んっ

でもね…
一つだけ
ワガママ…
言っている？



駄目…？



ここだけで…
二人で居る時
だけでいいから…

亮ちゃんのお嫁さんでいさせてほしいの…



うん…!!



わかった…

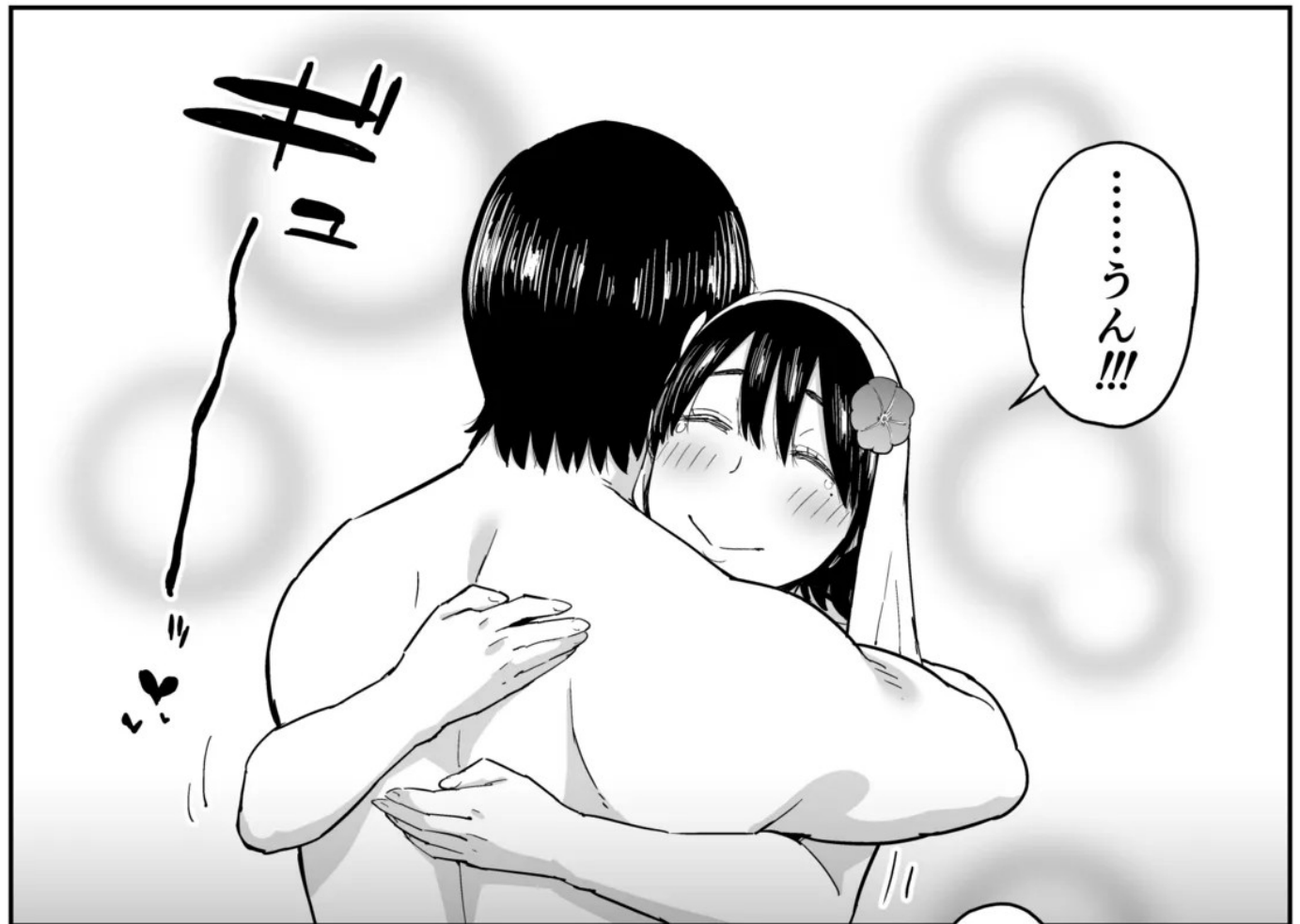
約束する…!!

もう直ちゃんに
寂しい思いなんて
させない…!!



……

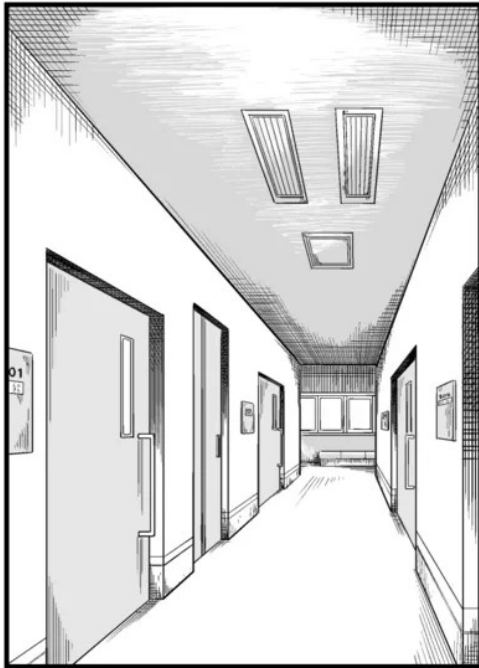
ハ…ハ…



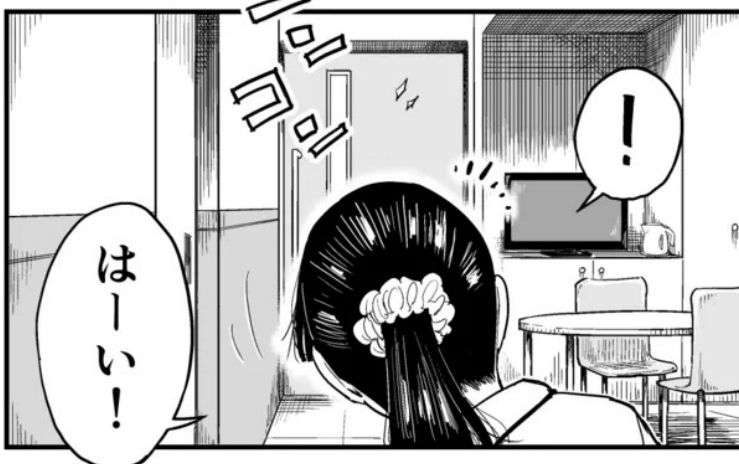
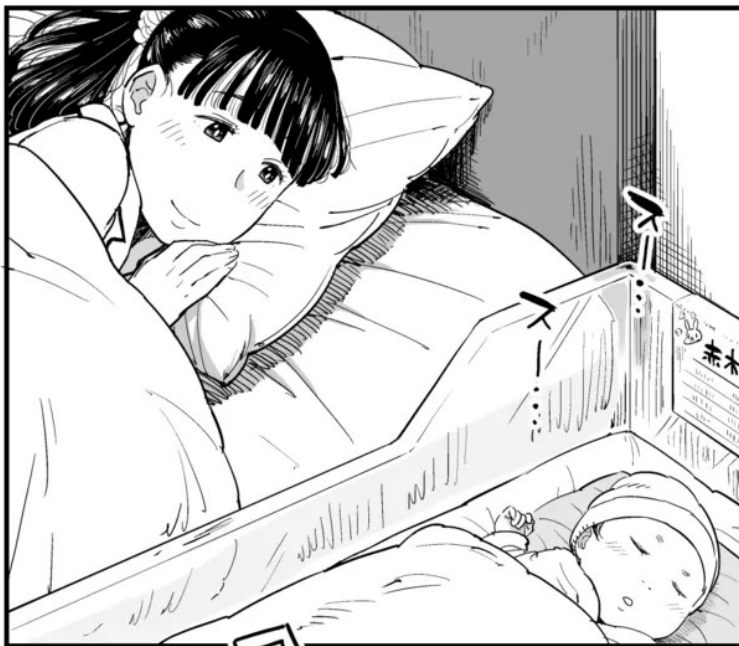
……うん!!!

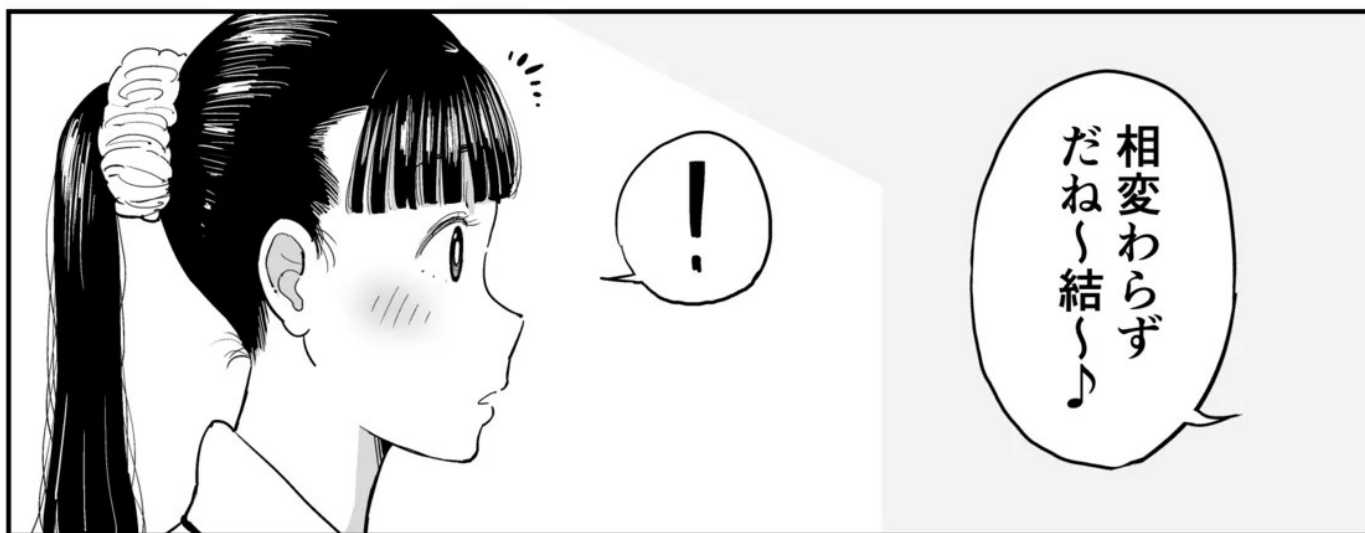
亮ちゃん…♡

大好き
だよ…



201
赤木 結 様





少し前





結の所
行かなきゃ...

じゃあ俺...



うん...



たしか：
駅裏の産婦人科
だったよね？

え？

うん：
そうだけど...



だから
ここで...

.....



じゃあ
急がなきゃ！

寄りたい
所もあるし

えっ!?



うん

?

.....



ちよっ…!!

直ちゃん
………!?

えっ…!?



私も行く!

いばっ

!!?
!!



ね!
亮ちゃん

えっ!?

ああ……!
うん……!

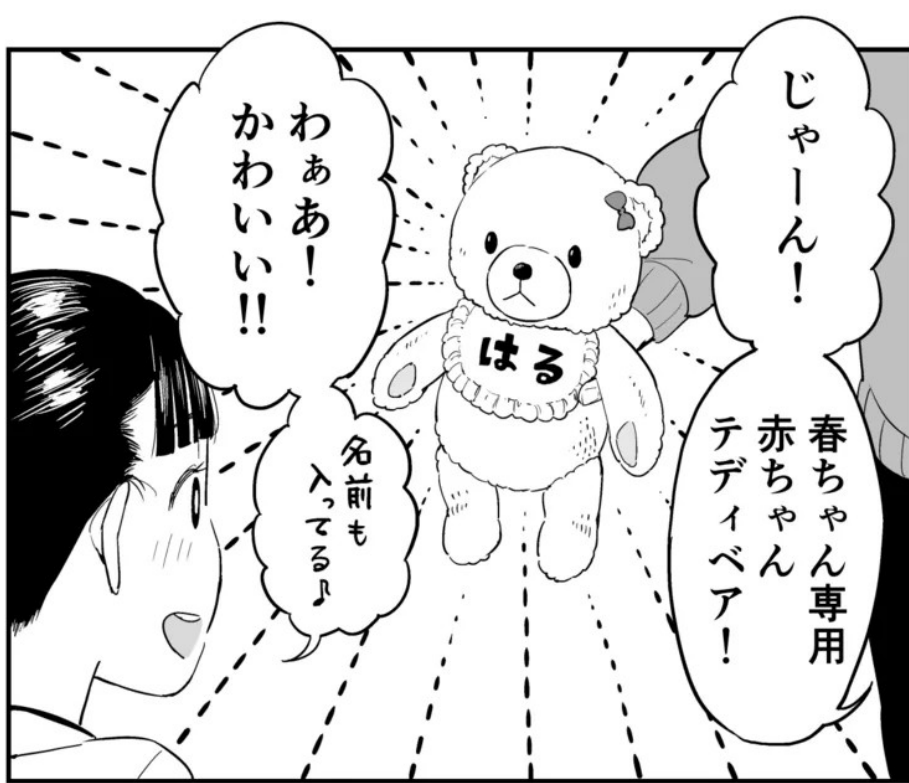


あははっ

だって
心配だったん
だもん

………
亮ちゃんに
無理言って
連れてきて
もらっちゃった







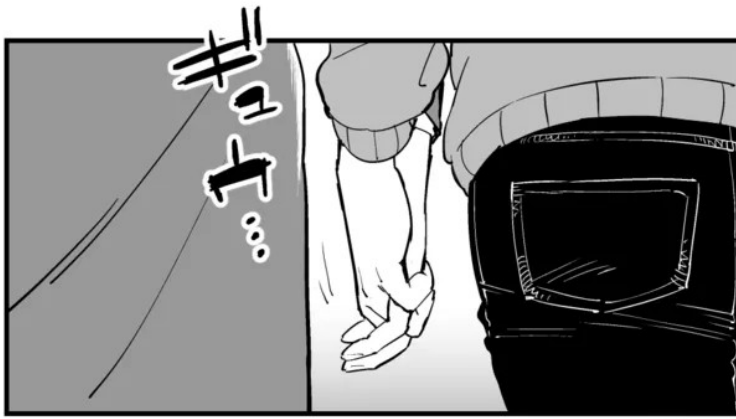
いいなあ
赤ちゃん...

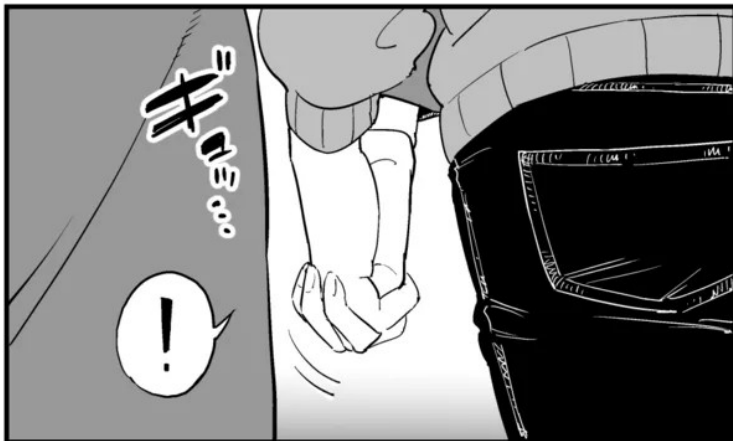
私も早く
欲しいなあ...

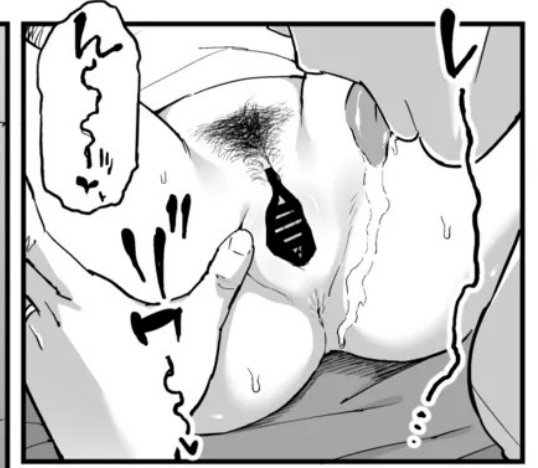


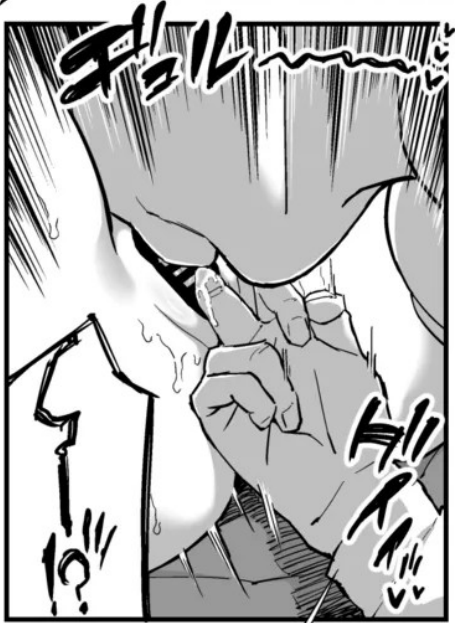


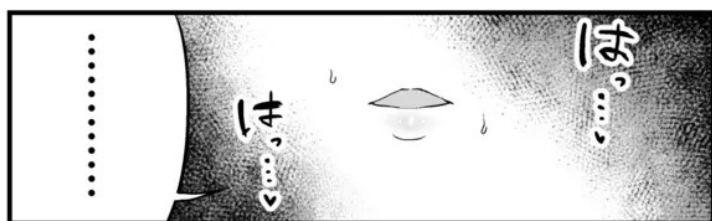












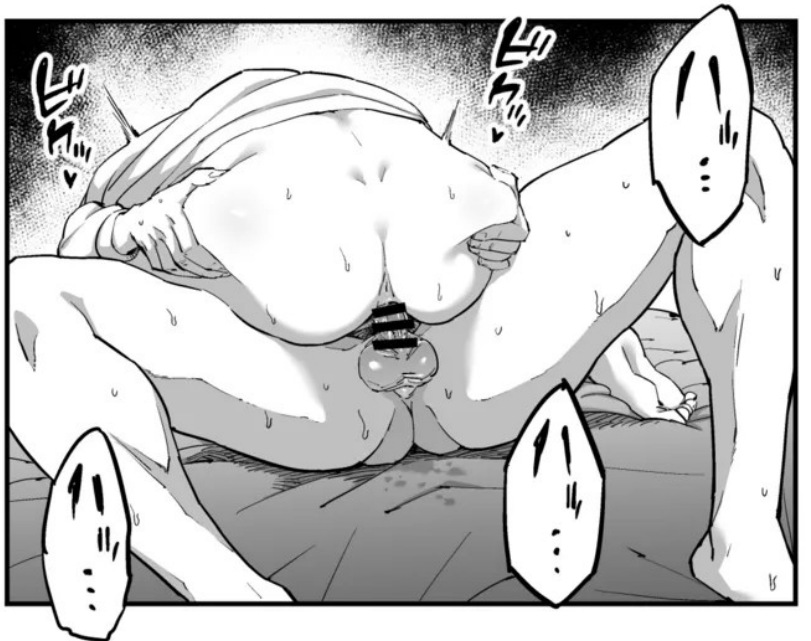


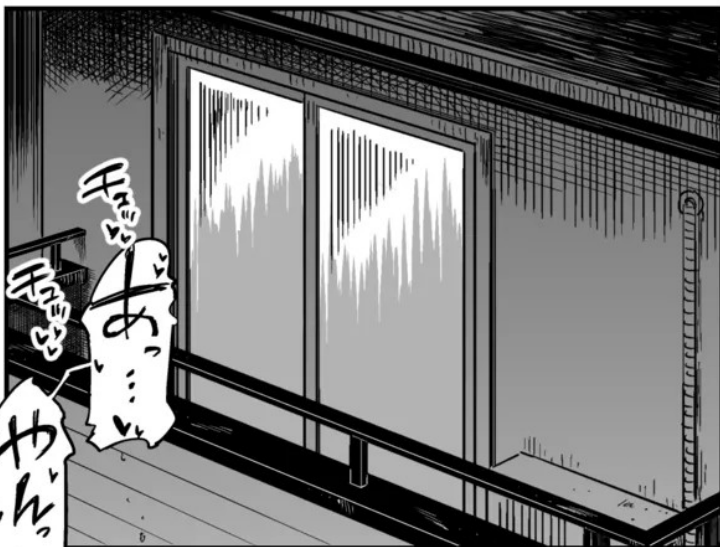




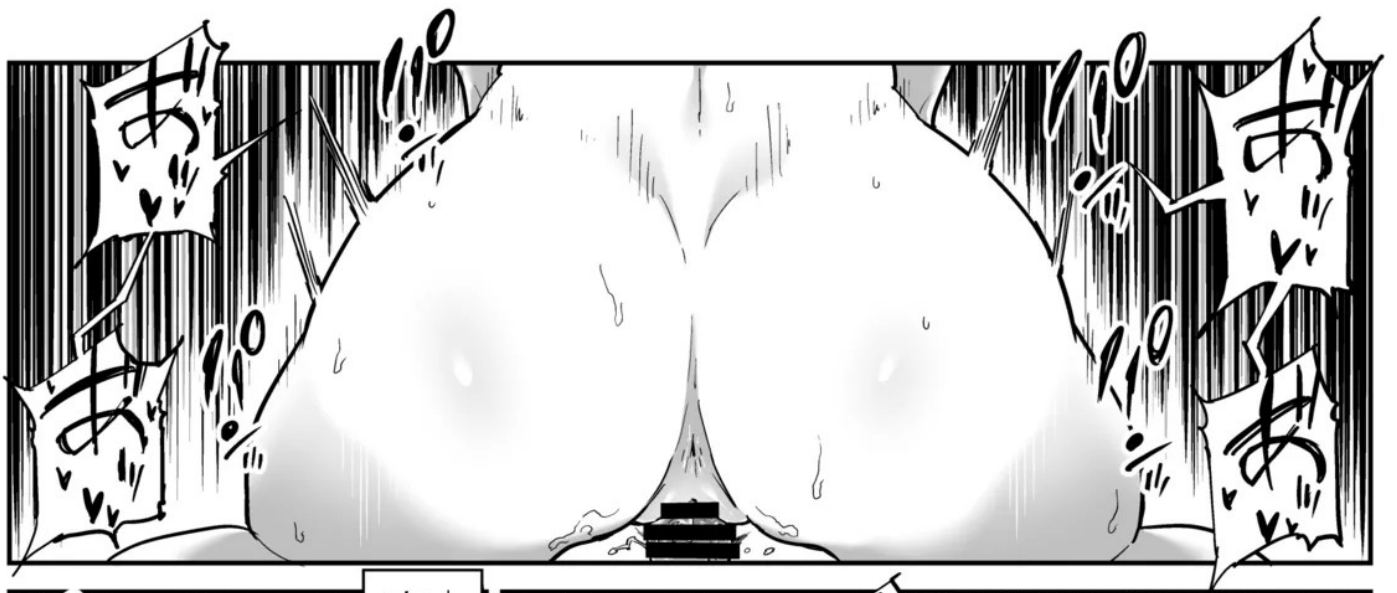




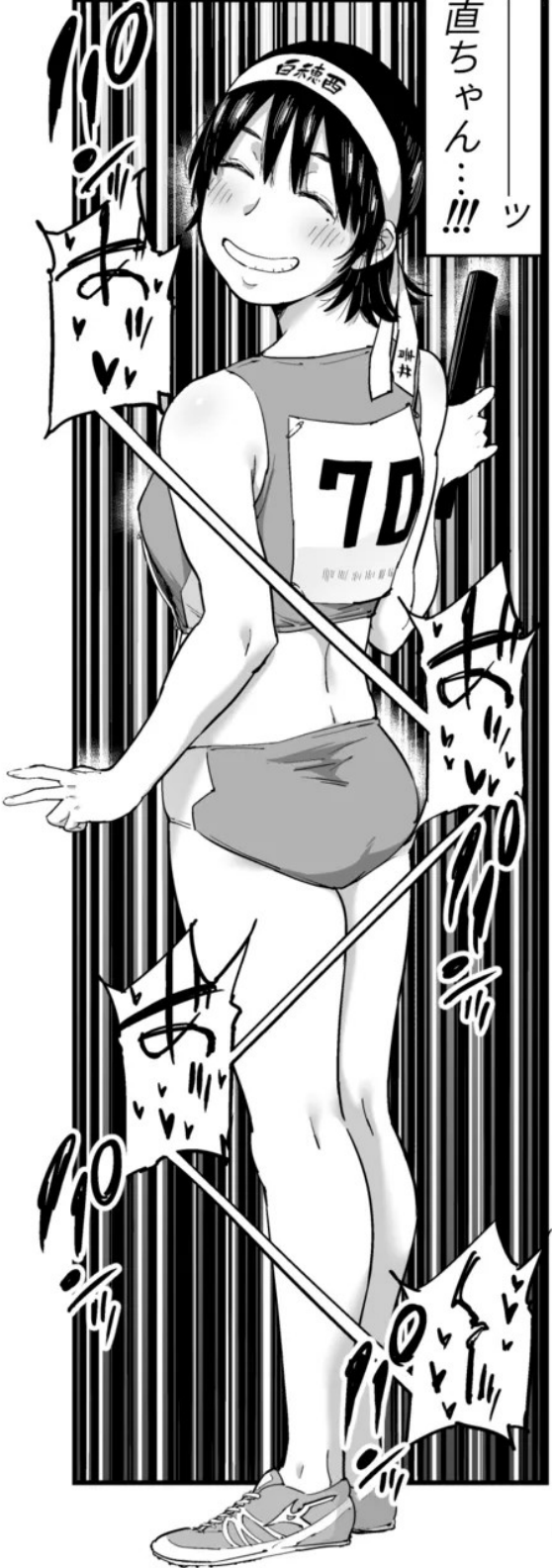


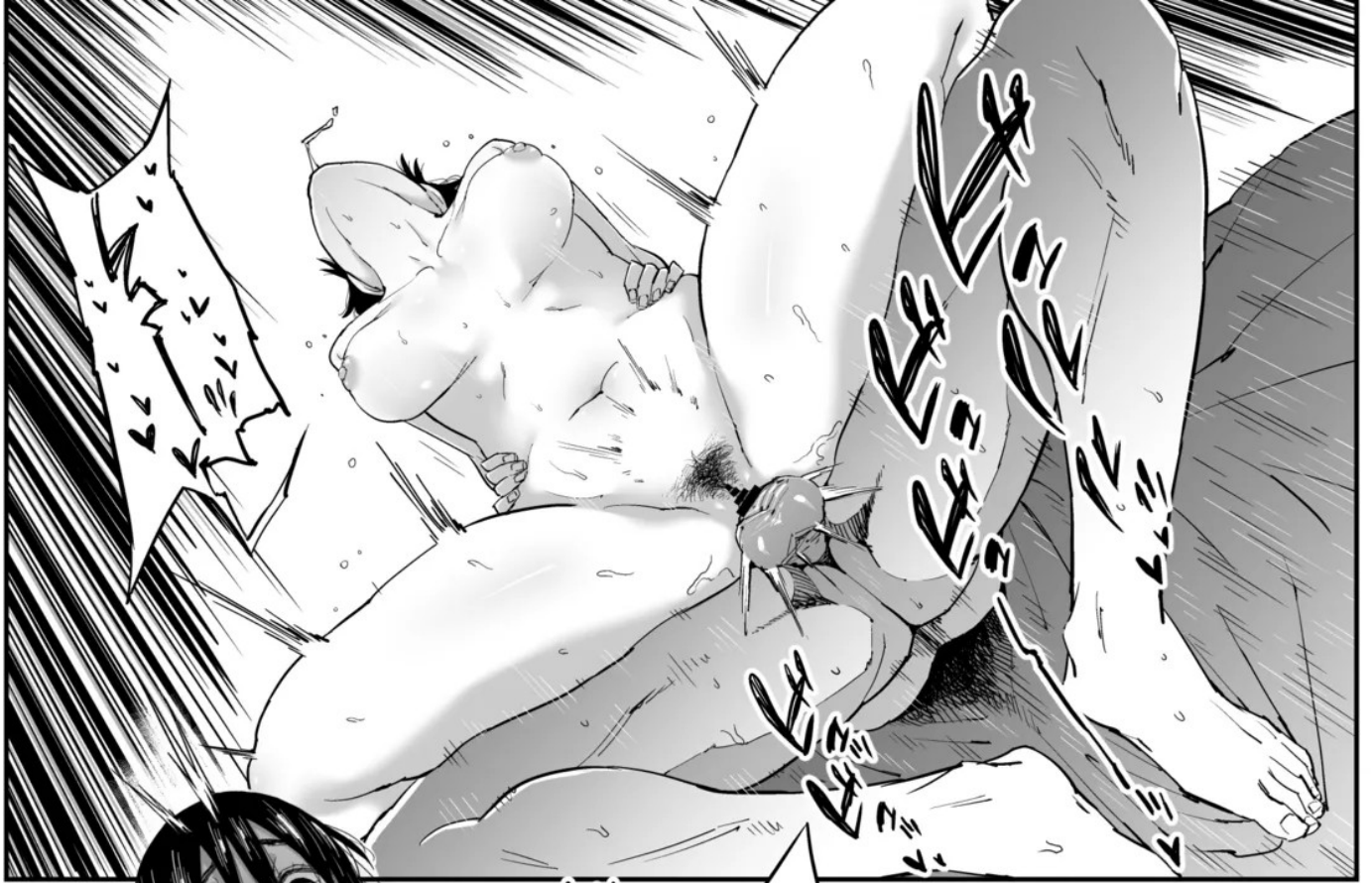


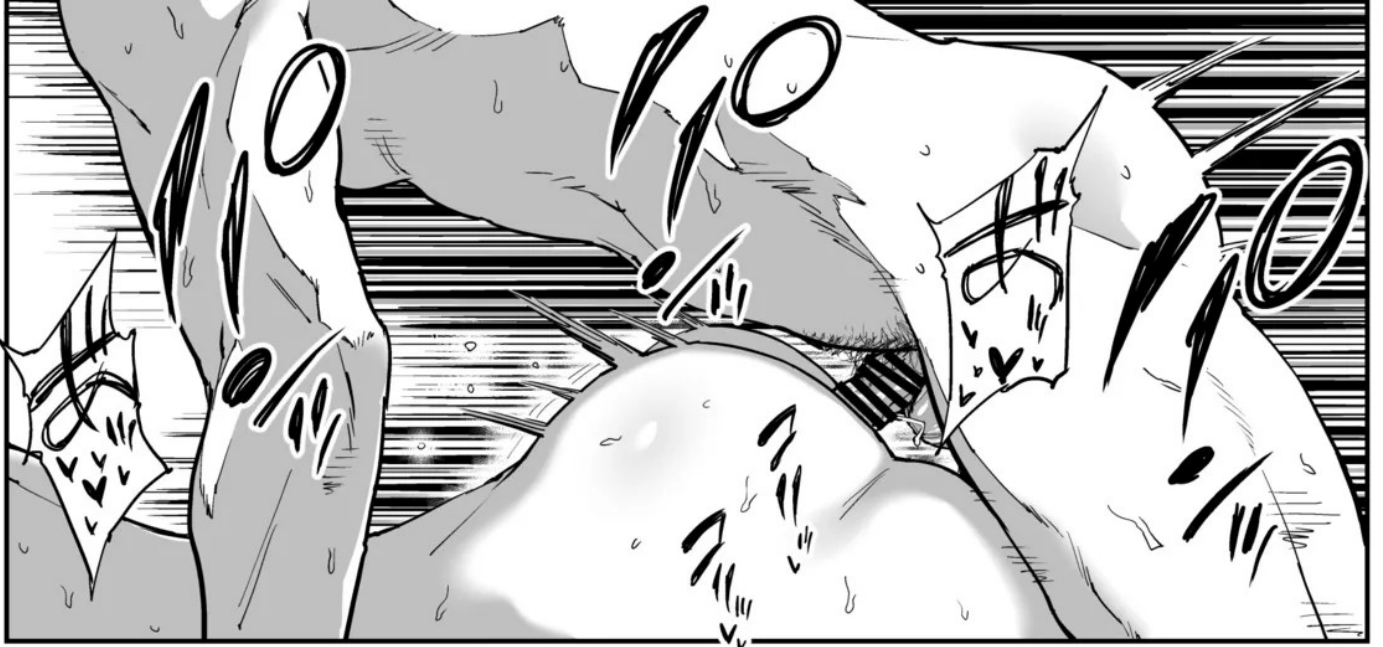




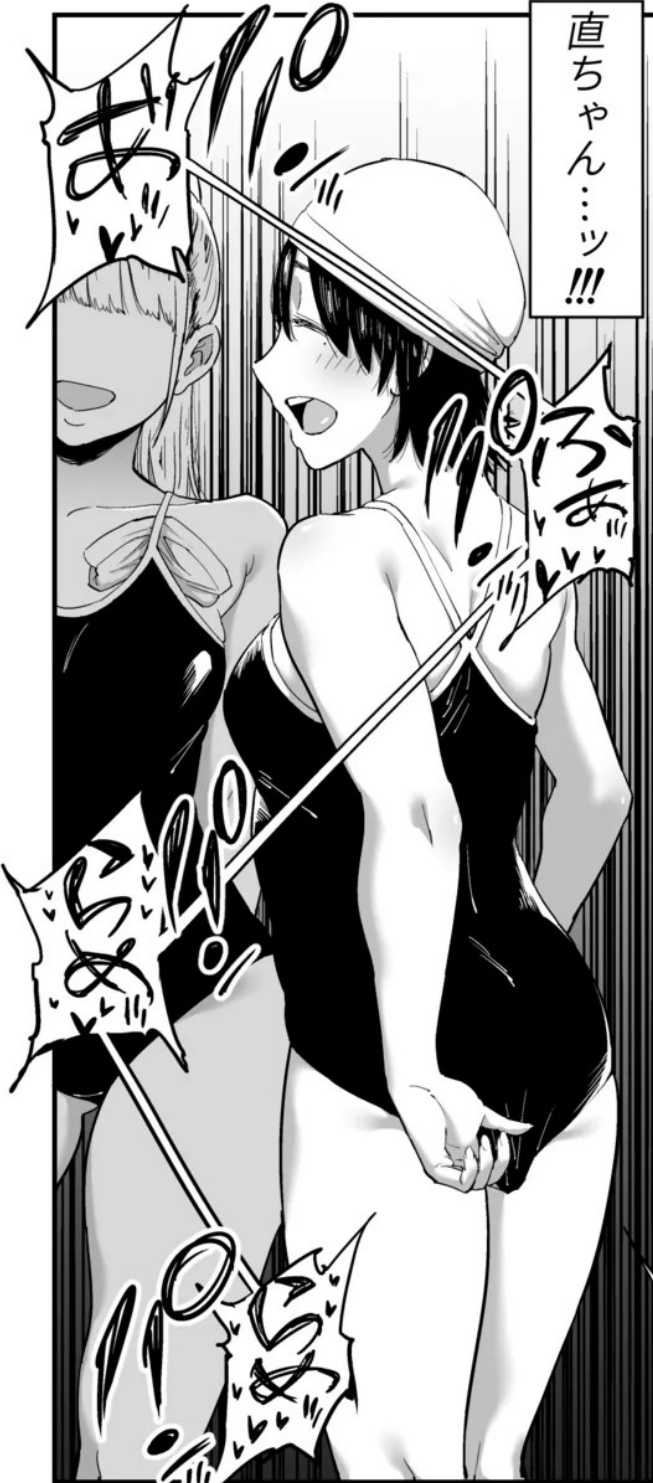
直ちゃん!!! ツ





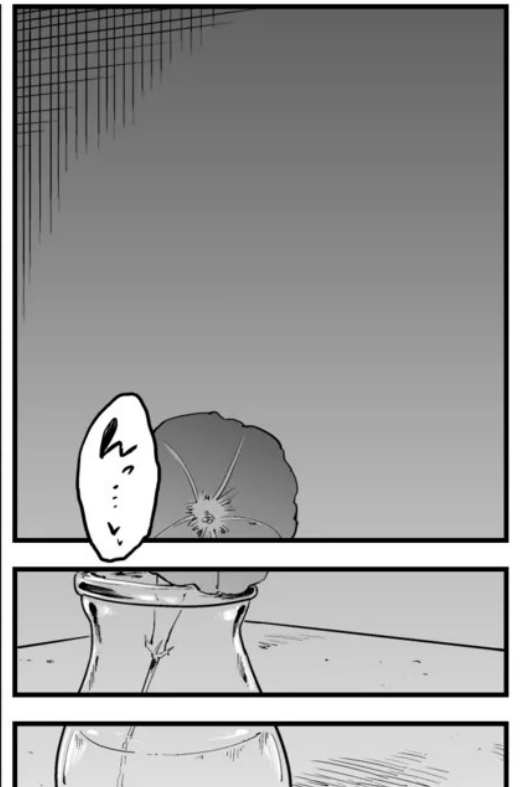
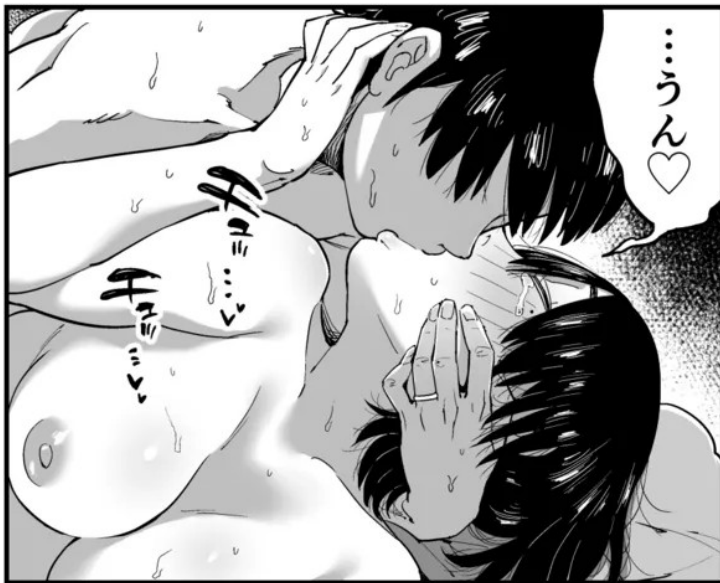


直ちゃん…ツ!!!



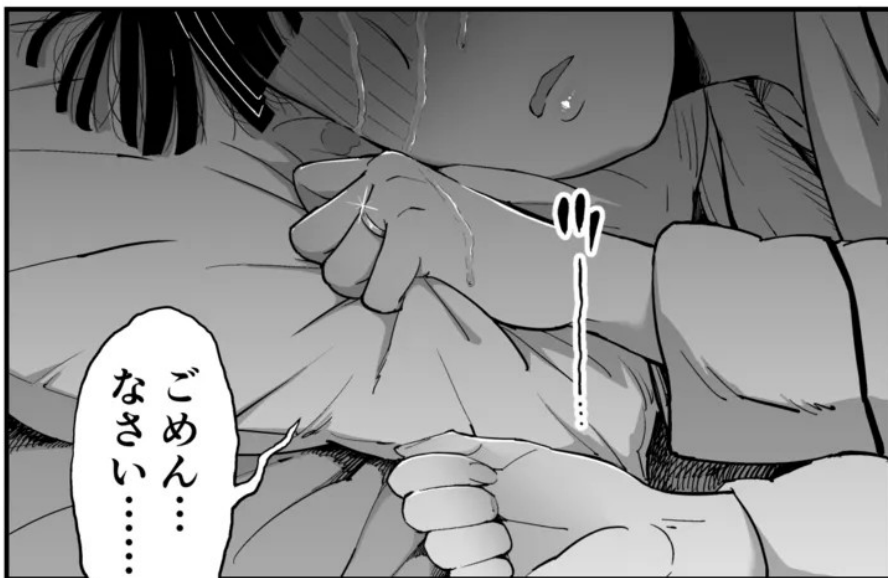






…ごめん
なさい…

直…
姉ちゃん…



六畳一間の花嫁

サークル・著者：しおじ

pixiv : <http://www.pixiv.net/member.php?id=541114>
twitter : <http://twitter.com/shioji618>
mail : shioji618@gmail.com

2020.12.30.

お買上げ、並心にお読み頂き。
有難うございました！

一心、あと2冊までには
まとめようと思、ていますので。
お付き合い頂ければ幸いです。

2020.12.30.

shioji.

←おまけPもあるよ

- この本は成年向けです。18歳未満の方の閲覧は固くお断りいたします。
- この本にある画像・文章・内容等の全てを無断で転載することを禁じます。



あおい なお
『青井 直』

- 初恋で幼馴染「赤木亮」の事が好き
- 結を本当の妹のように可愛がっている

•結と亮が結婚するが諦められず、
亮に子供がいるにも関わらず、
禁断の恋へ走り出す。



あかぎ ゆい きはら
『赤木 結』(旧姓:黄原)

- ・幼少期から兄のように慕う亮のことが好き
 - ・直を本当の姉のように慕っている
- ・かねてから願っていた亮と結ばれ一児をもうけるが、過去に亮の気持ちを直から離すための嘘をついたことで、今でも自責の念に駆られている

